



大塚先生より

今回は、子どもは今のところ接種予定者には入りませんが…まわりの大人は大部分の人が打つであろう『新型コロナウイルスワクチン』についてお話しします。

日本国内でも調査対象になる先行接種が、当院で始まりました。今現在(2/26)のところ238名の1回目の接種が終わり、重篤な副反応はみられていません。

現在当院で接種されているファイザー社のワクチンはメッセンジャーRNA (mRNA) ワクチンといって、人工の遺伝子情報が書き込まれたタンパク質 (mRNA) を私たちの体内の細胞に入れて作らせる、効率のよい仕組みを使ったワクチンです。

欧米での臨床試験では、効果も安全性も高いという結果が出ているので、治療薬の開発がまだまだかかりそうな新型コロナウイルス感染症の予防には、今のところワクチン接種ということになります。



小児科外来より

2月も感染症はありませんでした。気温の寒暖差で喘息発作や鼻水・目のかゆみなどアレルギー症状が出て、受診する患者さんがみられました。

今年度は新型コロナウイルスに振り回された1年でした。手洗い・うがい・マスク着用などの感染予防対策をみつめ直す機会になりました。

3月は卒園・卒業の時期ですね。感染予防対策を引き続き行い、新年度に向けて体調を整えましょう。

病児保育室はっぴいの利用状況は下記の通りです

(受入れ人数一日3人) 2021/02/1~2021/02/28

	0~1歳	2~3歳	4~6歳	学童	合計
能代市	10	1	4	3	18
山本郡	3	0	0	1	4
その他	0	0	0	0	0
合計	13	1	4	4	22

「新型コロナウイルス感染症の検査について」※厚生労働省:新型コロナウイルス感染症病原体監査の指針第3版参照

新型コロナウイルス感染症における検査については、現在、核酸検出検査(リアルタイム RT-PCR 等)、抗原検査(定性・定量)が実施されています。いずれの検査でも病原体が検出された場合、検体採取時点における感染が確定されますが、ウイルス量が少ない例では陰性となることや、同じ患者さんでも経時的に排出ウイルス量が変化するため、適切なタイミングでの採取が求められています。感染の確認のためには、原則として気道または口腔由来検体を用いて検査を行いますが、どの検体が適当かは患者さんの症状や状態、採取時の医療設備によって判断されます。検体の採取は、主に鼻咽頭ぬぐい液(インフルエンザの検査と同様)、鼻腔ぬぐい液、唾液、痰を用います。採取時にはくしゃみなどを伴うこともあり、飛沫等に暴露しないように医療スタッフも留意しております。

★秋田県では令和2年11月16日から発熱・風邪などの症状がある場合、受診前にかかりつけ医・地域の身近な医療機関に必ず電話相談することになりました。当院でも症状などをお聞きした上で、受診時間と専用診察室をご案内いたしております。電話受付時間 8:30~14:00 診察時間 14:00~16:00

感染管理担当 平野副師長



独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)秋田病院

病児保育室はっぴい

〒016-0851 秋田県能代市緑町5-22 3階ナースステーション隣り

T E L (代表) 0185-52-3271 (予約・問い合わせ) 090-8924-4253

アドレス happy@akita.jcho.go.jp ※メールでの予約対応はいたしません